

アフィリエイト広告の最新動向

深谷 良孝●バリューコマース株式会社 新規事業・商品開発部長

成功報酬広告から商品トランザクション情報ハブへ ネットとリアルをカバーしビジネスモデルを拡大

2005年はアフィリエイト広告業界にとって激動と飛躍の年であった。4月にバリューコマースがYahoo!JAPANと資本提携し、9月には楽天が米国リンクシェアを買収した。11月にはファンコミュニケーションズがアフィリエイトサービスプロバイダー（以下ASP）としてJASDAQに初の上場を果たした。またアフィリエイト収益をビジネスモデルの柱とする比較.comも2006年3月にマザーズに上場を行った。バリューコマースとの資本提携により、Yahoo!JAPANがアフィリエイトマーケットに参入するなど、大手企業の参入も増え、市場規模も390億円と前年比70%の成長が推測されている。ブログの普及やアフィリエイトによる副収入解説書が多数発行されたこともあり、一種のブーム状態となり、各ASPとも登録アフィリエイトサイト数が前年に比べて倍増している。

■ 個別商品リンクが主流に

ネット広告というと、一般には画像バナー広告で企業ページや商品ページのトップにリンクを張るものが想起されるが、最近のアフィリエイト広告ではテキストや商品画像による個別商品ページに直接リンクを張る「個別商品リンク」が主流となっている。実際、バリューコマースと提携する大手ショッピングモールや宿泊予約サイトの事例では、取引の約80%が個別商品リンクにより誘導されている。アフィリエイトサイト開設者は購入した商品の説明や印象をブログに書き込み、その商品のアフィリエイト広告を個別商品リンクで掲載する。また、地域情報サイトでも、その地域の宿泊施設のアフィリエイト広告を個別商品リンクで掲載する。地域や商品名など、絞り込んだキーワードで検索結果に表示される可能性が大きくなり、そこからのオーダーが発生する。SEOやSEMを得意とするアフィリエイトサイトでは非常に多くの個別商品・サービスをカバーしており、広く薄く報酬を得ている。いわば、ブログの普及により、媒体の裾野が広がるとともに、アフィリエイト対象商品のロングテール化も進んでいる。各ECサイトでも、個別商品リンク普及のため商品DBをCSVファイルとして公開し、アフィリエイトサイトに提供している。価格比較サイトや商品検索サイトは、そうしたCSVファイルなどより商品DBを構築するが、未対応

ECサイトについてはクローリングで商品データを独自に収集することもある。

■ ポイントプログラムで企業間提携

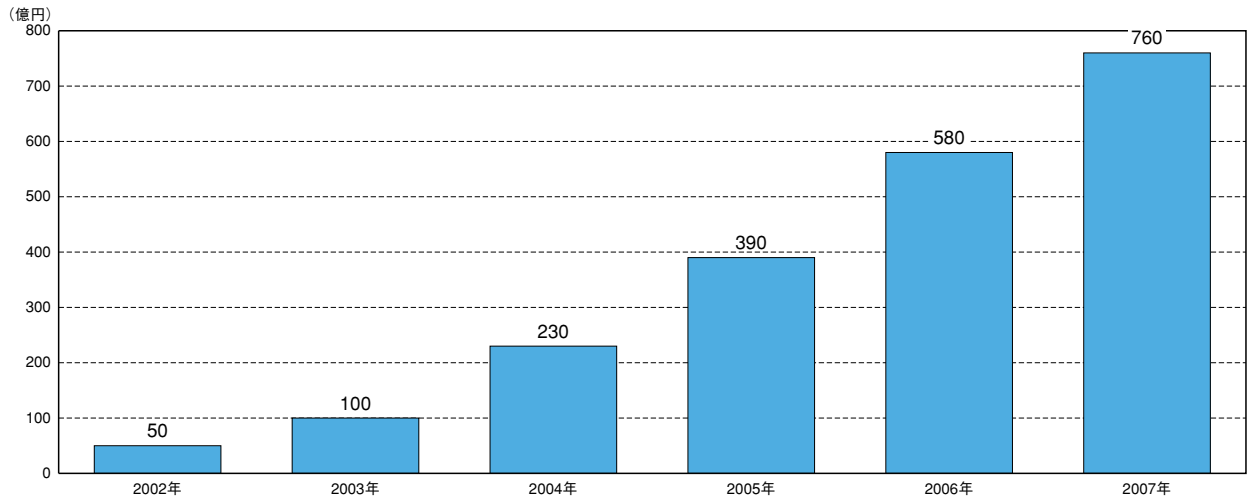
一方、アフィリエイトは単純な成功報酬広告モデルから、企業間提携のトランザクションハブとしての機能も高まっている。具体的には航空会社、クレジットカード会社、石油元売会社やネット専門ポイント会社のマイレージポイント獲得モールに多数のアフィリエイトECサイトが掲載されている。各ポイント会員がそれらのECサイトで商品を購入したり、資料請求をしたりして得られるアフィリエイト報酬を、会員にポイントやマイレージとして還元するサービスが普及してきている。ポイントサービスではアフィリエイトを広告ビジネスではなく、企業間取引の精算手段として利用している。従来、こういったポイントサービスは決済をハブとするカード会社が担っていたが、決済の伴わない宿泊予約、会員登録、資料請求には対応できなかった。またポイントの還元額も利用額の0.5～1%ぐらいでカード手数料による限界があった。アフィリエイトでは還元額も決済やカード手数料に関係なく設定できる。電子通貨との連動も始まり、エディやJR東日本の予約サイトえきねっとでもポイント獲得モールが開設されるなど、今後アフィリエイトを活用したネットとリアルをカバーするポイントサービスがさらに普及することが予想される。

■ 商品DB・ブログと連動したWebサービスの普及

アフィリエイト広告ではアマゾンのWebサービスが商品DBやブログとの連動のベンチマークとなっている。ほとんどのブログサービス事業者ではアマゾンのアフィリエイト広告を簡単に掲載できるようになっている。ASPやECサイトとの連動も進んでいる。アマゾン以外では楽天、ビッダーズ、ライブドアデパート、宿泊予約のじゃらんnetなどがすでに対応しており、Yahoo!オークションのサービスインも予定されている。ブログや最新商品情報のRSSをリスティングバナー広告にして配信する動きもある。今後、ECサイトやASPの商品DBのAPI公開やRSS配信の活用により、ブログとアフィリエイトのシームレス化はさらに進行すると考えられる。

アフィリエイト広告の市場規模は390億円

資料5-4-4 アフィリエイト広告市場規模の推移・予測



	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
アフィリエイト	50	100	230	390	580	760
(対前年比成長率)	15%	100%	130%	70%	49%	31%
露出保証型広告	603	710	958	1,440	1,890	2,240
(対前年比成長率)	15%	18%	35%	50%	31%	19%

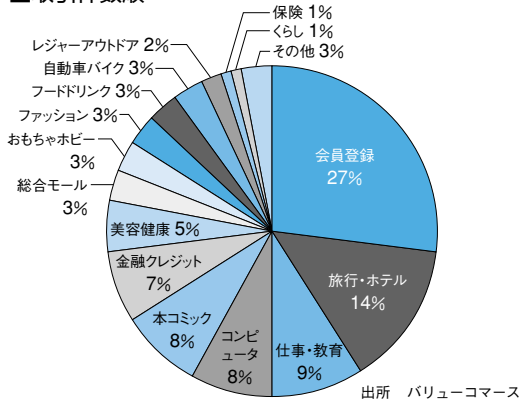
出所 電通のデータを基に野村證券金融研究所推測
ないし予想

大手企業の参入拡大、リテラシーの低い一般ユーザーも参入しやすいブログの普及を追い風に、アフィリエイト広告市場は急成長した。媒体選択と集中の進む露出保証型広告の成長率を上回る。

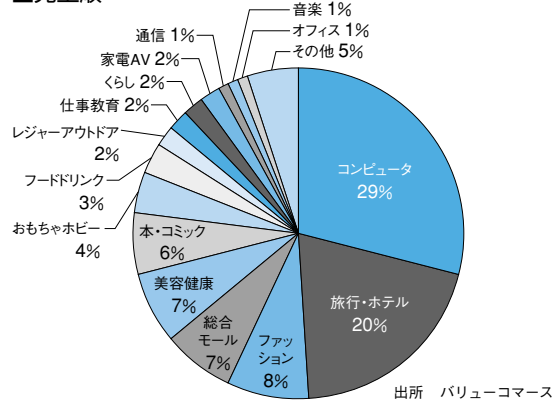
取引件数の多い旅行予約や会員登録、成功報酬では金融

資料5-4-5 バリューコマースにおけるアフィリエイトECサイト上位100社のカテゴリー分布

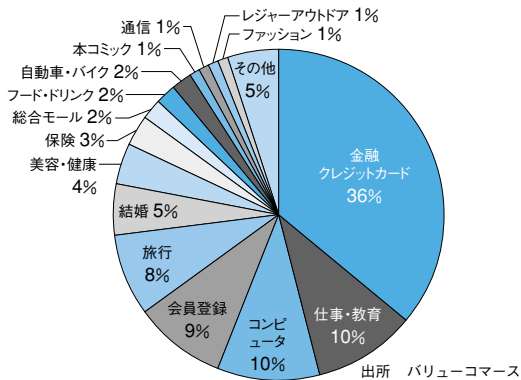
■取引件数順



■売上順



■成功報酬額順



取引件数では、成功報酬単価は低いが成約率が高く、会員登録や旅行予約が多い。売上では、単価の高いパソコン、商品数の多い総合モールやファッションサイトが上位に並ぶ。成功報酬額順では高額報酬が設定されている金融クレジットカード、仕事教育が目立つ。この分野ではECサイト、比較サイトがSEO・SEMに注力している。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp